

福島青年団団歌「昭和の東」

一 昭和の東 位くらひして

清冽せいれつきわめる 多摩野辺の

固有の歴史備そなえたる

光輝く 二分団

二 熱鉄身を灼やく夏の日や

風塵ふうじん身を切る冬の夜に

鍛きたえに鍛きたえしその成果

いざや試ためさん今日の日

三 鉄腕健脚てつわんけんきやく行くところ

正義にむかう敵はなく

熱血おじ躍る我が選手

最後の栄冠二分団

最後の栄冠二分団

*この青年団歌の作詞者等は不明で私が幼少のころから歌われていたもので、主として戦前・戦中は兵隊送りに、戦後は青年団の対抗運動会に歌われました。

*第二分団 昭和町は当時八つの地区からなっており、東から順に郷地の次の二番目の分団ということです。

岩崎好亮